

# 国語科学習指導案

指導者 教諭 三島 顕一

## ア 単元名

志望理由書を作成し，文章構成を学ぶ（全5時間）

## イ 単元目標

- （ア）課題に応じて様々な情報を収集・活用し，自分の考えを進んで表現しようとする。（関心・意欲・態度）
- （イ）自分の考えをまとめたり深めたりして，目的に応じ，筋道を立てて文章を書くことができる。（書く能力）
- （ウ）自分の考えを伝えるための適切な文章構成を理解し，筋道を立てて文章を書いたり，自己評価や相互評価に役立てたりすることができる。（知識・理解）

## ウ 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
・様々な情報を収集・活用し，自分の考えを進んで表現しようとしている。	・自分の考えをまとめたり深めたりして，自分を伝えるという目的に応じ，筋道を立てて文章を書いている。	・志望理由書に適した文章構成を理解し，筋道を立てて文章を書いたり，自己評価や相互評価に役立てたりしている。

## エ 実際の指導

### （ア）授業計画

時間	各時間の目標	主な学習活動	各時間の評価規準	評価方法
1	ア志望理由書の基本構成を理解する。  イ本単元の具体的な学習目標を理解する。  ウ情報を収集することの大切さを理解する。	「小論文ノート」に基づき，志望理由書の意義，基本構成（過去 - 現在 - 未来）や模範文例について説明を聞く。  「評価表」（資料1）に基づき，本単元の具体的な学習目標や到達点を確認する。  志望先に関する情報を収集することの大切さについて説明を聞く。  （「事前学習シート」（資料2）を配付し，次時までには志望理由や将来像について簡潔に整理しておくことを各自の学習課題とする。）	ア自分の考えを伝えるという志望理由書の目的に適した文章構成を理解している。【知】  イ学習の意義を理解し，今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。【関】	・観察（机間指導）  本時だけで判断せず，今後の学習状況を観察して評価を行う。
2	ア志望先の情	パソコン室で志望先の情報を収	ア志望理由書を作成するた	・観察（机

	<p>報を収集する。 イ収集した情報や自分の考えを整理する。</p>	<p>集する。 「事前学習シート」に基づき、収集した情報や自分の考えを整理する。 (次時までには情報や考えを整理しておくことを学習課題とする。)</p>	<p>めに必要な情報を収集しようとしている。【関】 イ志望理由書に活かせるように情報や考えを整理しようとしている。【関】</p>	<p>間指導) ・ワークシート(「事前学習シート」)</p>
3	<p>ア志望理由書を作成する。</p>	<p>前時までの学習を活かし、「事前学習シート」を活用しながら志望理由書を作成する。  (学習が遅れている者は次時までには志望理由書を作成しておくことを学習課題とする。)</p>	<p>ア(1)自分の考えを伝えるという目的に応じ、筋道を立てて志望理由書を書くことができる。【書】 ア(2)情報を活用したり、筋道を立てて自分の考えを表現したりしようとしている。【関】</p>	<p>・観察(机間指導) ・ワークシート(「事前学習シート」) ・志望理由書</p>
4	<p>ア志望理由書を自己評価する。  イ志望理由書を相互評価し、意見交換を行う。</p>	<p>前時に作成した志望理由書を読み、「評価表」の項目に基づいて自己評価を行う。 進路別に3人のグループになる。 志望理由書を回覧し、相互評価を行う。 「評価表」を受け取り、他者からの評価を読む。 「評価表」に基づいて、なぜそのような評価を行ったのか、意見交換を行う。  (自己評価や相互評価で浮かび上がってきた問題点については、次時までには考えたり調べたりしておくことを各自の学習課題とする。)</p>	<p>ア文章構成を理解し、評価の観点に基づいた自己評価を行うことができる。【知】 イ志望理由書の文章構成を理解し、志望理由書の具体的な記述に基づいて意見交換を行うことができる。【知】</p>	<p>・観察(机間指導) ・ワークシート(「評価表」) ・志望理由書</p>
5	<p>ア志望理由書を書き直す。</p>	<p>ア前時までの学習やオープンキャンパスの内容、指導者からの助言を活かして志望理由書を書き直す。  (各自の進路希望に応じて学習課題に取り組む。)</p>	<p>ア(1)自分の考えを伝えるという目的に応じ、筋道を立てて志望理由書を書くことができる。【書】 ア(2)前時までの学習やオープンキャンパスの内容、指導者の助言を活かして自分の考えを表現しようとしている。【関】</p>	<p>・観察(机間指導) ・志望理由書</p>

## (イ) 学習指導案

日時	平成21年7月15日(水)第5時限		指導クラス	3年5組	指導者	三嶋 顕一
科目	現代文	教科書名	小論文ノート(本校で独自に作成したもの)			
本時目標	第4時(全5時間中) ・文章構成を理解し, 評価の観点に基づいた自己評価や他者評価を行うことができる。(知識・理解) ・文章構成を理解し, 具体的な記述に基づいて意見交換を行うことができる。(知識・理解)					
資料	・ワークシート(「評価表」) ・志望理由書					
	学習内容	学習活動	時間	指導上の留意点及び評価の実際		
展 開	導入 ・本時の学習目標の確認 ・資料配付	・本時の目標を確認する。 ・前時に作成した志望理由書, を受け取る。	3分 一斉	・志望理由書として適切な文章構成を学ぶことを本時の目標として確認する。		
	・志望理由書の自己評価	・各自, 前時に作成した志望理由書を読み, 「評価表」の項目に基づいて自己評価を行う。	10分 個人	・ワークシートについて補足説明を加える。 目標に対する具体的評価規準と評価方法 [規準] 自分の志望理由書について, 文章構成を理解し, 「評価表」の項目に基づいた自己評価を行うことができる。 [方法] 観察(机間指導), 「評価表」 [努力を要する生徒への手だて] 過去 - 現在 - 未来の3段落構成になっているか, 確認するよう助言する。		
	・グループ分け ・志望理由書の相互評価	・3人のグループになる。 ・グループ内で志望理由書を回覧し, 「評価表」の項目に基づいて相互評価を行う。 ・「評価表」を受け取り, 他者からの評価を読む。	21分 グループ  3分 個人	・進路希望(進学, 就職)を考慮してグループ分けを行う。 ・率直な意見交換ができるように, 3人のグループとする。 ・良い点を誉めることを重視するために, 「評価表」では「悪い」という表現を避ける。 ・評価の観点にとらわれず, 自由に感想・意見を記入できるように, 「評価表」にコメント記入欄を設ける。		
	・意見交換	・「評価表」に基づいて, なぜそのような評価を行ったのか, 意見交換を行う。	10分 グループ	・良い点を見つけ, 誉めることを重視させる。 ・悪い点を指摘する際には, どこを直すと良くなるかを具体的に示すようにさせる。 目標に対する具体的評価規準と評価方法 [規準] 志望理由書の文章構成を理解し, 志望理由書の具体的な記述に基づいて意見交換を行うことができる。 [方法] 観察(机間指導), 「評価表」 [努力を要する生徒への手だて] 志望理由書の具体的な記述に基づいて, 良い点や悪い点について意見を述べるよう助言する。		
まとめ	・資料提出	・「評価表」, 志望理由書を提出する。	3分	・自己評価や相互評価で浮かび上がってきた問題点については, 次時までには考えたり調べたりしておくことを各自の学習課題とする。		